

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 6 日作成)

小委員会名	信頼性工学応用小委員会	主 査 名：日下 彰宏 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：高橋 徹
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	性能設計、リスクマネジメント、防災対策などで重要性が増している確率・統計手法やリスクの概念の理解と普及 初年度：荷重指針英文化と研究動向調査の作業計画立案 2 年度：動向調査と、PD 開催または書籍等の出版など成果公表のための作業 3 年度：PD 開催または書籍等の出版により調査成果の公表 4 年度：『建築部荷重指針』改定に向けた新しい設計概念等の検討	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：日下彰宏 (小堀鐸二研究所) 幹事：足立高雄 (大林組)、小檜山雅之 (慶應義塾大学) 委員：糸井達哉 (東京大学)、石川孝重 (日本女子大学)、尾崎文宣 (名古屋大学) 久下康太朗 (ガイ・カーペンター)、高田毅士 (東京大学)、高橋徹 (千葉大学) 趙衍剛 (神奈川大学)、西嶋一欽 (京都大学)、平田京子 (日本女子大学)、 肥田剛典 (東京大学)、森保宏 (名古屋大学)、山崎賢二 (竹中工務店)	
設置 WG (WG 名：目的)	荷重指針 1 章・2 章英文化作業 WG：荷重指針の当小委員会執筆担当部分の英文化 信頼性工学動向調査 WG：信頼性工学に関係する最新研究、新しい性能設計の概念や国際的な動向の調査と普及 荷重指針試設計 WG：荷重指針の将来の改訂作業に資する各種荷重に対する試設計事例の作成	
2017 年度予算	220,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s28/

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 荷重指針執筆担当の英文化作業を実施 2. 今後の研究動向調査として、試設計、ロバストネスなどをトピックスとして抽出
委員会活動の問題点・課題	1. 今年度、抽出した調査トピックスに対して、適切な調査活動ができる体制を整えることが必要。